

FASBが金融商品の減損に関する最終基準を公表

FASB（米国財務会計基準審議会）は2016年6月、会計基準アップデート「金融商品－信用損失」を公表しました。当該基準において、IFRS9号と同様に予想信用損失の見積りを導入することを決定しています。

予想信用損失の見積りにはCECL（Current Expected Credit Losses）モデルを採用しており、IFRSとは異なったアプローチとなります。以下にIFRSとの相違点を中心に主なポイントを示します。

✓ 予想信用損失の測定

予想信用損失の測定にはCECLモデルを利用。主に償却原価で測定される金融資産は存続期間にわたる予想信用損失の見積りが必要となる。

✓ 売却可能負債性証券

売却可能負債性証券については公正価値が償却原価を下回る場合にのみ、予想信用損失の測定（公正価値と償却原価の差額が上限）が必要。

当該金額は引当金として計上する。